

Special cars

スペシャルカーズ Tuning & Dress-up Car Magazine

2010 No.12 定価 780円

First Contact!!

尊の“超級チューンド” 一気乗り!

クリーデザイン458イタリア／ブラバスSLS
ABデザインSLS／ハーマンSLS／キヘラ-SLS
BT R8 GTR & R8 V10 スパイダー

Hot Blood

アメリカン・チューンドの主張。

シーバフォーマンス 1000hpカマロ／SMSチャレンジャー
ルビーGT350／シェルビーGT500SS × コルベットZR1
ガーザR1 × テックアート997ターボ

Cool Passion
ミドル級サルーン&
ワゴンの過激

Gパワー M5 × ポルシェ997ターボ@湾岸バトル
ヴァイタミンRS6 × E55T AMG
ヴォルシュティナーE63AMG
3Dデザインに見る5シリーズ・モディファイ

Wheels Special
鍛造ホイールの新価格

TWS/レイズ/アドバン/AGIO/WC
ハイパーフォージド/レーシングダイナミクス
OZレーシング/シュミーテン/



www.DAKLEYdesign.eu

Neo Classic Tuning
メカトロニック280SE 3.5

US Dress-up Trend
ヴォルシュティナーX6M & ポルシェVGT

World News Topic

マンソリー・ゴースト & グラントゥーリズモ
ゲンバラ・パナメーラ/ブラバスS V12Rビジネス
スピードアート・カイエンHV/MKB P1000

ハイブリッドカーをチューニング、と聞くと矛盾しているように感じるかもしれない。しかし、ハイブリッドカーは自動車の環境性能を高めただけではなく、電気モーターがもたらす図太いトルクが新しい動力源としての可能性を予感させる。そして、ポルシェのハイブリッドカーをチューニング、と聞けば少し後ろめたい印象も薄らぐようと思える。スポーツカーメーカーが手がけるハイブリッドカーは、環境性能と走行性能の両方を追い求めるべきだからだ。そして、おそらく世界で初めてカイエン・ハイブリッドのチューニングを手掛けたのが、ここに紹介するスピードアートであろう。

カイエン・ハイブリッドの動力性能はガソリン車のV6、V8の中間に位置づけられる。同時に低燃費化、低排出ガス化も実現している。あえて難点を挙げるなら、車重ならびに重さが及ぼす運動性能への影響かもしれない。これは世界中のバッテリーメーカーが認識していて、取り組んでいる課題のひとつだが、今後時間が解決してくれるに違いない。

カイエン・ハイブリッドが採用するV6エンジンは、

ガソリン車のV6とは異なっている。ガソリン車の3596ccV6は最高出力300ps、最大トルク400Nmを誇るNAエンジン。0→100km/h加速は7.8秒、最高速は230km/hに達する。

対するカイエン・ハイブリッドは、3lV6エンジ



ンにスーパーチャージャーを搭載、最高出力333ps、最大トルク440Nmを誇っている。そして、電気モーターが最高出力47ps、最大トルク300Nmを発生。0→100km/h加速は6.5秒、最高速は242km/hとなっている。

スピードアートは、エンジンのECUを書き換え、最高出力403ps/6300rpm、最大トルク520Nm/2600rpmまでパワーアップさせたようだ。たったそれだけのことだが、0→100km/h加速は5.9秒、0→200km/h加速は25.9秒（ガソリン車のV6は29.6秒）、最高速252km/hと大幅にパフォーマンスが向上している。4輪すべてに295/30ZR22のタイヤを履き、10J×22インチのアルミホイールを装着。左右4本出しスポーツエキゾーストは、スイッチで音量が変わる「スポーツ」と「ステルス」の2モード付きだ。

スピードアート・ハイブリッドは、走り出してみるとガソリン仕様との違いが明白だ。低速からグイ

ガイとアグレッシブに前進しようとする。気づけばトルクの虜になってしまい、重たいクルマを加速させる誘惑についつい浸ってしまう。ドライバーには、自制心が要求されるかもしれない。

今のところ世界最速のハイブリッドSUVである、スピードアート・ハイブリッド。カイエン・ハイブリッドより2割ほど燃費は落ちるが、それでもSUVとしては好燃費。環境に気遣う演出をしながら、従来どおりドライビングの楽しみを味わうことができる。芸能人、政治家、企業経営者といった公人にはうってつけのモデルかもしれない。



本来はクロノメーターの位置。ダッシュボード上に収まったブルーのブーストメーター。ECUの書き換えなどにより、70psアップを達成。

チューンドモーターという
“新基軸”を提案。

刺激的グリーン。

日本には来年上陸すると目される新型カイエン・ハイブリッドのチューニングモデルが早くも登場した。エコなハイブリッドをあえてイジる……、そこには近未来のスペシャルマシンの姿があった。

PHOTO&REPORT Ian Kuah TEXT 古賀貴司 (Takashi Koga)

SPEEDART CAYENNE HYBRID

新型カイエン・ハイブリッドをベースに、モーターではなく、V6スーパーチャージャーエンジンの出力を70ps高めた。おそらく世界初のカイエン・ハイブリッドのチューニングモデルは、世界最速のハイブリッドSUVだという。外観では22インチホイールを装着、左右4本出しのエキゾーストを採用するほかは、まだ大きな変更点はない。その一方で欧州ではクリーンなイメージの象徴であるブルーのストライプをモチーフにカラーリングを施している。



WORLD
NEWS
FLASH
05